

【調査結果の概要】

- 国語は正答率が国と比べて低い領域が数多くあるが、特に3つ（言葉の特徴・話す聞く・情報の扱い方）あり、大きな差が見られる。特に「話すこと聞くこと」については、7ポイント以上の差が見られる。反対に高い領域は、「書く」のみで、わずか0・3ポイント上回っている。
- 算数は全ての領域で全国を下回っている。とくに「測定」は12ポイント近く差があるが、結果を分析すると無回答の割合が多く、回答している子については、ほとんど正答していた。つまり、しなくてもよい範囲の捉え方を間違っていた可能性がある。

◆正答率の比較

| | | 1年 | 本校 | 市 | 全国 | |
|----|------|--------|------|------|------|------|
| 国語 | 教科全体 | | 70.7 | 73.3 | 74.6 | |
| | 基礎 | | 79.5 | 80.3 | 82.8 | |
| | 活用 | | 54.3 | 60.2 | 59.4 | |
| | 領域 | 言葉の特徴 | | 84.6 | 85.4 | 89.3 |
| | | 情報の扱い方 | | 51.4 | 58.6 | 58.1 |
| | | 話す聞く | | 50.1 | 55.9 | 57.4 |
| | | 書く | | 81.9 | 84.5 | 81.6 |
| | | 読む | | 68.3 | 69.0 | 68.9 |

| | | 1年 | 本校 | 市 | 全国 | |
|----|------|------|------|------|------|-------|
| 算数 | 教科全体 | | 77.3 | 81.6 | 82.2 | |
| | 基礎 | | 81.4 | 84.9 | 87.9 | |
| | 活用 | | 59.6 | 67.5 | 66.0 | |
| | 領域 | 数と計算 | | 78.4 | 82.1 | 82.2 |
| | | 図形 | | 82.8 | 85.3 | 88.0 |
| | | 測定 | | 67.9 | 77.0 | 78.26 |
| | | | | | | |

【国語】

- 「説明文を読み取る」は目標値を上回った。
- 漢字の読みも大きく上回った。
- 「文章を書く」は全てわずかではあるが、目標値を上回っている。
- △話を聞き取ったり、聞いたことをもとに発表したりすることについては、13～17ポイント下回っており、大きな弱点となっている。

【算数】

- ・38の設問中、目標値を上回ったのは5つ、目標値を下回ったのは12。
- △情報量の多い文章題の中から必要な情報だけを取り出して立式していく問題は、特に誤答が多かった。
- 文章題は目標値を大きく上回っていた。
- また、計算については平均に近い得点できていた。

漢字や計算といった基礎的な問題が良く出来ているのは、日々の授業や宿題にしっかりと取り組んだ成果だと言えます。初めて経験するテスト形式でしたが、頑張って最後まであきらめずに取り組んだ児童の姿が伺えます。今後は、引続き基礎基本の定着を図りつつ、「話す・説明する」「聞いて理解する」機会を意識的に取り入れながら、まじめに学習に向き合う学年の雰囲気大切に指導を継続し、子ども達の成長を応援していきます。